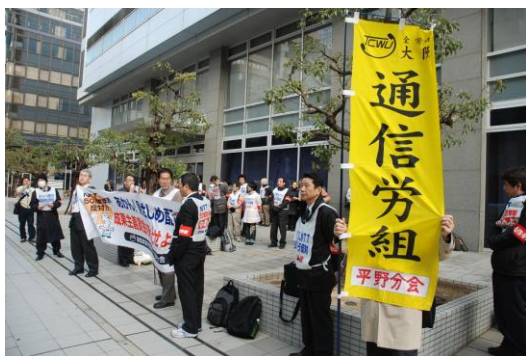


## 3・18総行動市内で2500人が行動



↑ 通信労組は4支部でストライキ

### 早朝宣伝、ストライキ、ランチタイムデモ、総決起集会と多彩に展開

大阪春闘共闘・大阪労連は今春闘最大のヤマ場の3月18日、「労働者派遣法の抜本改正を」「全国一律最低賃金1000円を実現せよ」「大企業は中小零細企業イジメをやめ、内部留保の活用で下請け単価引き上げ、営業を守れ」など、労働者と国民の要求を高く掲げて、大阪総行動を展開しました。

早朝からは淀屋橋や大阪駅前ヨドバシカメラ前などで春闘宣伝。通信労組は拠点の4職場で始業時からの時限ストライキに立ち上がり、職場前で決起集会とピラ宣伝。NTTの職場で50歳を超えて通信労組に加入した新組合員もストライキに参加して、NTTの不当な労働者イジメを告発しました。

↑ 通信労組は拠点の4職場で始業時からの時限ストライキに立ち上がり、職場前で決起集会とピラ宣伝。NTTの職場で50歳を超えて通信労組に加入した新組合員もストライキに参加して、NTTの不当な労働者イジメを告発しました。

昼休みのランチタイムデモには、靱公園など東西南北から4コースから大阪市役所へ集中し、800人が参加しました。午後の扇町公園での春闘総決起集会にはナースウェーブ行動に参加していた医療労働者や、JRの職場で働く国労の仲間も合流して、1100人が結集。集会では、大阪労連の川辺和宏議長が「大企業はこの10年間で200兆円を超える内部留保をため込んだ。労働者の賃上げ、中小零細企業の営業をまもるために還元せよ。この春闘を国民の暮らしと営業をまもる春闘にしよう」と呼びかけました。集会のあとは扇町公園から西梅田公園までデモ行進しました。大阪総行動の締めくくりは、JR西日本本社前での包囲行動。国労大阪を中心に多くの仲間がJR西日本を包囲して「JR採用差別事件の解決をはかれ」と訴えました。



↑ カラフルな菜の花デモ



↑ 扇町公園には1100人が結集

また、大阪労連女性部ではこの日の行動を「菜の花行動」と名付けて、ランチタイムデモでは参加者が菜の花を手に、要求プラカードを片手にかざして行進しました。さらに午後からは、大阪府など自治体、各政党、女性団体などに要請行動を行いました。

この終日かけての大阪総行動にはのべ2500人の組合員が参加しました。また、多くの職場では、昼休みなどを利用して大阪総行動に連帯する職場集会なども行われており、今春闘を最後まで果敢にとりくむ「大阪総行動アピール」の決議も行っています。